







学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)																	
以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に(経済学)の学位を授与する。																	
1. 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。 2. 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。 3. 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。 4. 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。 5. 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることでできる人間性がな人材を養成する。																	
学類のCP(カリキュラム編成方針)																	
【2021年度の入学者】1年次には、国際基幹教育院での勉学および語学力の向上に集中するとともに、入門的な専門科目を履修する。2年次から本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に鑑みて、幅広い知識を会得するとともに、人材養成目標2にみるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、年12回、アドバイザー教員と面談する機会が確保されている。2年次01から03にかけては専門共通科目を履修的に履修しつつ、2年次04からの演習科目に重点を置き、3年次4月に、専門知識をより深く身につけるべく、エコノミクスもしくはグローバル・マネジメントコースに配属される。エコノミクスコースでは理論・政策系科目目およびグローバル系科目目、グローバル・マネジメントコースではマネジメント系科目目およびグローバル系科目目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に則して専門分野をより深く探求し、調査研究活動や論文執筆等に取り組む。演習での研究活動を通じて、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3および4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。																	
学類の学習成果																	
①-学習成果を上げるために履修することがなく(求められない科目)、②-学習成果を上げるために履修することが求められる科目、③-学習成果を上げるために履修することが求められる科目、④-学習成果を上げるために履修することが求められる科目、⑤-学習成果を上げるために履修することが求められる科目、⑥-学習成果を上げるために履修することが求められる科目、⑦-学習成果を上げるために履修することが求められる科目、⑧-学習成果を上げるために履修することが求められる科目、⑨-学習成果を上げるために履修することが求められる科目、⑩-学習成果を上げるために履修することが求められる科目、⑪-学習成果を上げるために履修することが求められる科目、⑫-学習成果を上げるために履修することが求められる科目																	
科目番号	授業科目名 (2021年度入学)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学修目標	学年	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
45208	国際公共政策論	代表的な国際公共政策としての国際法と国際機関	国際経済法を中心とした国際法、および国連を始めとする国際機関、についてそれぞれ機能や効用、問題点を理解することができる。	2	2	◎											
45209	比較地域経済論 → 2022年度入学者から 比較地域経済論1.2(各1 単位)へ分割	グローバル化のもてど諸地域経済の現状、課題、発展戦略	1. 現代経済に関する地域的視点および地域経済分析の理念と方法を学ぶ。 2. 足下の地域の実態から経済社会の問題を解明する分析視角を養う。	2	2	○											
45210	国際貿易論1E	The basic theory of International Trade	This class is designed for students to understand the basic theories in international trade	2	1	○	◎			◎	△	○	◎				◎
45211	国際貿易論2E	Analysis of Trade Policy	This class is designed for students to obtain the skills to discuss trade policies based on the standard economic theories.	2	1	○	◎			◎	△	○	◎				◎
45212	国際開発論1E	The Main objective of this course is to understand theories of International development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎	○	◎		◎	△	○	◎				○
45213	国際開発論2E	The Main objective of this course is to understand theories of International development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎	○	◎		◎	△	○	◎				○
45214	アジア経済史AI	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1	○	○				○	◎			△		
45215	アジア経済史AII	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1	○	○				○	◎			△		
45216	アジア経済史B I	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1					○	◎			△			
45217	アジア経済史B II	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1					○				○	◎		△
45218	日本経済史	近代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する。	1. 日本帝国主義を含む戦前日本経済の姿相を理解できるようにする。 2. 事象を根拠的に捉えることができるようになる。	2	2		◎	○					△		△		
45219	社会言語学	日常的な日本語から日本社会を見る	日本語と日本社会との関連を見る目を養うことを目標とする。	2	2	○											○
45220	対照社会言語学	対応する場面で使用される日本語と外国語を比較する。	日本語と外国語の発想性の異同を分析できるようにする。	2	2	○				○							○
45221	グローバル経済史	長期的、広域的にグローバル化の歴史を学ぶ。	現代におけるグローバル化の歴史的成り立ちを、環境史を視野に入れて理解する。	2	2	○				◎	◎			△			
45300	経営管理論	経営管理理論の潮流	企業において経営管理がいかに実践されてきたのか、理論と実践の両面から理解できるようにする。	2	2		◎			◎	○	△	○				
45301	人的資源管理論	日本企業の経営管理	日本企業がどのように経営管理を実践しているのか、その変遷と現状について理解できるようにする。	2	2		◎			◎	○			○	◎		
45302	経営情報論	企業の組織と情報	企業の組織現象を情報に注目して理解する。	2	2	△	◎			○							○
45303	経営戦略論	企業経営と戦略	企業経営における戦略の役割と経営戦略について理解する。	2	2		○			◎					△		
45304	マーケティング論	マーケティングの考え方や基礎理論を学ぶ。	企業のマーケティング活動について、基本的な理解ができるようになる。	2	2		◎			◎						◎	
45305	生産システム論	生産システムの概念を総合的視点から言及しながら、次世代へつなげる知的生産システムの基礎理論・手法について講義する。	1. 生産システムの概念と原理について、理解できるようにする。 2. 次世代生産システムの実現のために求められる条件について議論できるようにする。	2	2		○			◎							○

